

平成30年度生活交通改善事業計画(案) に対する利用者等の意見把握結果 1名・7件 【意見募集期間】平成30年9月26日(水)～10月1日(月)の6日間

	居住地	性別・年代	事業名	ご意見		協議会の回答
				○・・・計画案に賛成 ×・・・計画案に反対	△・・・計画案の改良を希望 －・・・計画案と関係なし	
1	三浦市	男性	その他	「三浦半島生活交通ネットワーク計画協議会」に対しての意見募集している様ですが、根本的に、「地域公共交通確保維持改善事業」としておかしな内容になっています。端的に言えば、地域の為の補助金事業でありながら、事業者主体の要求で行われているようにしか見えない。以下、根拠の詳細を記載いたします。	△	今回作成しました、「地域公共交通確保維持改善事業計画(案)」につきましてはPTPS公共車両優先システム導入事業のみに係る計画であり、趣旨に沿った計画書の作成を行っております。 PTPSの導入によって、三浦半島地域におけるバスの定時性を確保するとともに、バスの利用を一層促進することを目的とし、計画書の作成を行っています。 なお、設備導入においては、自治体からの要望をもとに交通事業者が設置の検討を行っております。
			//	また、以前、三浦市に提出している、「地域公共交通確保維持改善事業」として行うべき内容を転送いたします。こちらの内容もご確認ください。	－	協議会として計画を行っているため、個別自治体へのご意見はご回答できません。
			//	http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html	－	意見ではないため回答はありません。
			//	国土交通省では「地域公共交通確保維持改善事業」により、地域の多様な関係者が協働した地域の公共交通の	－	
			//	・地域の特性に応じた生活交通の確保維持(地域公共交通確保維持事業) 三浦市の需要を考えることは最優先と思われる。それぞれの市が問題点や改善案等を持ち寄り、全体のメリットを考慮して取り組む課題を決めるべきである。 特定の交通事業者のメリットを優先すべきではない。	－	本協議会は、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(生活交通ネットワーク計画)」の策定を目的としており、三浦半島地域の3市1町および、交通事業者、国土交通省にて構成されています。 そのため、本計画では三浦市以外の地域における事業も含まれておりますが、すべての地域において優劣をつけておりませんので、必要に応じた計画を行ってまいります。
			PTPS	特に今回の「公共車両優先システムPTPS導入事業」は、三浦市内で効果のあるものではない。 横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町にとって、もっと優先して行う課題はたくさんあります。 ・私見ではあるが、複数車線があり、バス専用または優先レーンがあることが効果の前提と思われる。 先行試験は三浦半島で実施するが、実際のメリットは都心部(都内、横浜市内等)では困ります。))	－	三浦半島地域内でPTPSをすでに設置している地点における交通調査にて、時間的な効果が得られたという結果が出ています。 そのため、今回の導入は三浦半島地域以外への事前調査として設置を行うものではなく、バスの定時性を確保するとともに、バスの利用を一層促進することを目的としています。 また、車線数においても、複数車線の必要性はありません。
			その他	・快適で安全な公共交通の構築(地域公共交通バリア解消促進等事業) 三浦市で最も大きなバリアは、公共交通の普及が遅れている事です。 既存バス路線以外には、UD タクシーなどの福祉車両の導入が不可欠です。 私は、介護で実際に不便を感じました。	－	協議会として計画を行っているため、個別自治体へのご意見はご回答できません。
//	・地域公共交通ネットワーク形成に向けた計画策定の後押し(地域公共交通調査等事業) 地域で役に立たないものに対して、後押しはしないと読むべきではないか。	－	本協議会で導入を行っている事業に関しましては、一定の効果をえられる事業への取り組みを行っております。			